

Q0001

プログラミング

タグ：変数

用語：変数の確認ポイント1：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

次の説明に最も合う用語はどれか。値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

- A. 条件分岐
- B. 関数
- C. 変数
- D. クラス

答え・解説

Q0001 正答：C. 変数

解説：変数は、値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

プログラミング

タグ：変数

用語：変数の確認ポイント2：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

変数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- B. 入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位
- C. データと操作をまとめたオブジェクトの設計図
- D. 値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

答え・解説

Q0002 正答：D. 値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

解説：変数の要点は「値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

プログラミング

タグ：変数

用語：変数の確認ポイント3：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「変数」である。

- A. 変数：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱
- B. 条件分岐：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱
- C. 関数：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱
- D. クラス：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

答え・解説

Q0003 正答：A. 変数：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

解説：正しい組合せは「変数：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱」。
用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0004

プログラミング

タグ：変数

用語：変数の確認ポイント4：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

「変数」は、値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。変数は値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱。実務では
対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

プログラミング

タグ：変数

用語：変数の確認ポイント5：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

組織が「値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 条件分岐
- B. 関数
- C. 変数
- D. クラス

答え・解説

Q0005 正答：C. 変数

解説：この目的に対応するのは変数である。値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱という機能・考え方を持つためである。

Q0006

プログラミング

タグ：変数

用語：変数の確認ポイント6：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

「変数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. データと操作をまとめたオブジェクトの設計図
- B. 入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位
- C. 条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- D. 値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

答え・解説

Q0006 正答：D. 値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

解説：変数は値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

プログラミング

タグ：変数

用語：変数の確認ポイント7：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

「変数」は、条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述は条件分岐の説明である。変数は値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱。

Q0008

プログラミング

タグ：変数

用語：変数の確認ポイント8：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

次の状況で中心となる論点はどれか。「値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱」ことが求められている。

A. 関数

B. 変数

C. クラス

D. 条件分岐

答え・解説

Q0008 正答：B. 変数

解説：中心となる論点は変数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

プログラミング

タグ：変数

用語：変数の確認ポイント9：値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

「値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱」という特徴を持つものを選び。

- A. クラス
- B. 関数
- C. 変数
- D. 条件分岐

答え・解説

Q0009 正答：C. 変数

解説：変数が該当する。定義は値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0010

プログラミング

タグ：条件分岐

用語：条件分岐の確認ポイント1：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

次の説明に最も合う用語はどれか。条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

- A. 繰返し
- B. 引数
- C. 継承
- D. 条件分岐

答え・解説

Q0010 正答：D. 条件分岐

解説：条件分岐は、条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0011

プログラミング

タグ：条件分岐

用語：条件分岐の確認ポイント2：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

条件分岐の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- B. 条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造
- C. 関数へ処理対象の値を渡すためのデータ
- D. 既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

答え・解説

Q0011 正答：A. 条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

解説：条件分岐の要点は「条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0012

プログラミング

タグ：条件分岐

用語：条件分岐の確認ポイント3：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「条件分岐」である。

- A. 繰返し：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- B. 条件分岐：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- C. 引数：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- D. 継承：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

答え・解説

Q0012 正答：B. 条件分岐：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

解説：正しい組合せは「条件分岐：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0013

プログラミング

タグ：条件分岐

用語：条件分岐の確認ポイント4：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

「条件分岐」は、条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0013 正答：○

解説：正しい。条件分岐は条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0014

プログラミング

タグ：条件分岐

用語：条件分岐の確認ポイント5：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

組織が「条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 繰返し
- B. 引数
- C. 継承
- D. 条件分岐

答え・解説

Q0014 正答：D. 条件分岐

解説：この目的に対応するのは条件分岐である。条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造という機能・考え方を持つためである。

Q0015

プログラミング

タグ：条件分岐

用語：条件分岐の確認ポイント6：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

「条件分岐」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- B. 既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み
- C. 関数へ処理対象の値を渡すためのデータ
- D. 条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

答え・解説

Q0015 正答：A. 条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

解説：条件分岐は条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0016

プログラミング

タグ：条件分岐

用語：条件分岐の確認ポイント7：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

「条件分岐」は、条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0016 正答：×

解説：誤り。記述は繰返しの説明である。条件分岐は条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造。

Q0017

プログラミング

タグ：条件分岐

用語：条件分岐の確認ポイント8：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

次の状況で中心となる論点はどれか。「条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造」ことが求められている。

- A. 引数
- B. 継承
- C. 条件分岐
- D. 繰返し

答え・解説

Q0017 正答：C. 条件分岐

解説：中心となる論点は条件分岐である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0018

プログラミング

タグ：条件分岐

用語：条件分岐の確認ポイント9：条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造

「条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造」という特徴を持つものを選びなさい。

- A. 継承
- B. 引数
- C. 繰返し
- D. 条件分岐

答え・解説

Q0018 正答：D. 条件分岐

解説：条件分岐が該当する。定義は条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0019

プログラミング

タグ：繰返し

用語：繰返しの確認ポイント1：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

次の説明に最も合う用語はどれか。条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

- A. 繰返し
- B. 関数
- C. 配列添字
- D. カプセル化

答え・解説

Q0019 正答：A. 繰返し

解説：繰返しは、条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0020

プログラミング

タグ：繰返し

用語：繰返しの確認ポイント2：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

繰返しの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位
- B. 条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造
- C. 配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- D. データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方

答え・解説

Q0020 正答：B. 条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

解説：繰返しの要点は「条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0021

プログラミング

タグ：繰返し

用語：繰返しの確認ポイント3：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「繰返し」である。

- A. 関数：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造
- B. 配列添字：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造
- C. 繰返し：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造
- D. カプセル化：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

答え・解説

Q0021 正答：C. 繰返し：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

解説：正しい組合せは「繰返し：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造」。
用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0022

プログラミング

タグ：繰返し

用語：繰返しの確認ポイント4：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

「繰返し」は、条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0022 正答：○

解説：正しい。繰返しは条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0023

プログラミング

タグ：繰返し

用語：繰返しの確認ポイント5：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

組織が「条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 繰返し
- B. 関数
- C. 配列添字
- D. カプセル化

答え・解説

Q0023 正答：A. 繰返し

解説：この目的に対応するのは繰返しである。条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造という機能・考え方を持つためである。

Q0024

プログラミング

タグ：繰返し

用語：繰返しの確認ポイント6：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

「繰返し」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方
- B. 条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造
- C. 配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- D. 入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

答え・解説

Q0024 正答：B. 条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

解説：繰返しは条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0025

プログラミング

タグ：繰返し

用語：繰返しの確認ポイント7：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

「繰返し」は、入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0025 正答：×

解説：誤り。記述は関数の説明である。繰返しは条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造。

Q0026

プログラミング

タグ：繰返し

用語：繰返しの確認ポイント8：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

次の状況で中心となる論点はどれか。「条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造」ことが求められている。

- A. 配列添字
- B. カプセル化
- C. 関数
- D. 繰返し

答え・解説

Q0026 正答：D. 繰返し

解説：中心となる論点は繰返しである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0027

プログラミング

タグ：繰返し

用語：繰返しの確認ポイント9：条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

「条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造」という特徴を持つものを選び。

- A. 繰返し
- B. カプセル化
- C. 配列添字
- D. 関数

答え・解説

Q0027 正答：A. 繰返し

解説：繰返しが該当する。定義は条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0028

プログラミング

タグ：関数

用語：関数の確認ポイント1：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

次の説明に最も合う用語はどれか。入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

- A. 引数
- B. 関数
- C. 例外処理
- D. 変数

答え・解説

Q0028 正答：B. 関数

解説：関数は、入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0029

プログラミング

タグ：関数

用語：関数の確認ポイント2：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

関数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 関数へ処理対象の値を渡すためのデータ
- B. 通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み
- C. 入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位
- D. 値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

答え・解説

Q0029 正答：C. 入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

解説：関数の要点は「入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0030

プログラミング

タグ：関数

用語：関数の確認ポイント3：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「関数」である。

- A. 引数：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位
- B. 例外処理：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位
- C. 変数：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位
- D. 関数：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

答え・解説

Q0030 正答：D. 関数：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

解説：正しい組合せは「関数：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0031

プログラミング

タグ：関数

用語：関数の確認ポイント4：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

「関数」は、入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0031 正答：○

解説：正しい。関数は入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0032

プログラミング

タグ：関数

用語：関数の確認ポイント5：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

組織が「入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 引数
- B. 関数
- C. 例外処理
- D. 変数

答え・解説

Q0032 正答：B. 関数

解説：この目的に対応するのは関数である。入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位という機能・考え方を持つためである。

Q0033

プログラミング

タグ：関数

用語：関数の確認ポイント6：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

「関数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱
- B. 通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み
- C. 入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位
- D. 関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

答え・解説

Q0033 正答：C. 入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

解説：関数は入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0034

プログラミング

タグ：関数

用語：関数の確認ポイント7：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

「関数」は、関数へ処理対象の値を渡すためのデータ。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：×

解説：誤り。記述は引数の説明である。関数は入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位。

Q0035

プログラミング

タグ：関数

用語：関数の確認ポイント8：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

次の状況で中心となる論点はどれか。「入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位」ことが求められている。

- A. 関数
- B. 例外処理
- C. 変数
- D. 引数

答え・解説

Q0035 正答：A. 関数

解説：中心となる論点は関数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0036

プログラミング

タグ：関数

用語：関数の確認ポイント9：入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

「入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位」という特徴を持つものを選べ。

- A. 変数
- B. 関数
- C. 例外処理
- D. 引数

答え・解説

Q0036 正答：B. 関数

解説：関数が該当する。定義は入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0037

プログラミング

タグ：引数

用語：引数の確認ポイント1：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

次の説明に最も合う用語はどれか。関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

- A. 配列添字
- B. クラス
- C. 引数
- D. 条件分岐

答え・解説

Q0037 正答：C. 引数

解説：引数は、関数へ処理対象の値を渡すためのデータ。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0038

プログラミング

タグ：引数

用語：引数の確認ポイント2：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

引数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- B. データと操作をまとめたオブジェクトの設計図
- C. 条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- D. 関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

答え・解説

Q0038 正答：D. 関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

解説：引数の要点は「関数へ処理対象の値を渡すためのデータ」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0039

プログラミング

タグ：引数

用語：引数の確認ポイント3：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「引数」である。

- A. 引数：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ
- B. 配列添字：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ
- C. クラス：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ
- D. 条件分岐：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

答え・解説

Q0039 正答：A. 引数：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

解説：正しい組合せは「引数：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0040

プログラミング

タグ：引数

用語：引数の確認ポイント4：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

「引数」は、関数へ処理対象の値を渡すためのデータ。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0040 正答：○

解説：正しい。引数は関数へ処理対象の値を渡すためのデータ。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0041

プログラミング

タグ：引数

用語：引数の確認ポイント5：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

組織が「関数へ処理対象の値を渡すためのデータ」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 配列添字
- B. クラス
- C. 引数
- D. 条件分岐

答え・解説

Q0041 正答：C. 引数

解説：この目的に対応するのは引数である。関数へ処理対象の値を渡すためのデータという機能・考え方を持つためである。

Q0042

プログラミング

タグ：引数

用語：引数の確認ポイント6：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

「引数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- B. データと操作をまとめたオブジェクトの設計図
- C. 配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- D. 関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

答え・解説

Q0042 正答：D. 関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

解説：引数は関数へ処理対象の値を渡すためのデータ。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0043

プログラミング

タグ：引数

用語：引数の確認ポイント7：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

「引数」は、配列内の要素位置を指定する番号又はキー。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0043 正答：×

解説：誤り。記述は配列添字の説明である。引数は関数へ処理対象の値を渡すためのデータ。

Q0044

プログラミング

タグ：引数

用語：引数の確認ポイント8：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

次の状況で中心となる論点はどれか。「関数へ処理対象の値を渡すためのデータ」ことが求められている。

A. クラス

B. 引数

C. 条件分岐

D. 配列添字

答え・解説

Q0044 正答：B. 引数

解説：中心となる論点は引数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0045

プログラミング

タグ：引数

用語：引数の確認ポイント9：関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

「関数へ処理対象の値を渡すためのデータ」という特徴を持つものを選べ。

- A. 条件分岐
- B. クラス
- C. 引数
- D. 配列添字

答え・解説

Q0045 正答：C. 引数

解説：引数が該当する。定義は関数へ処理対象の値を渡すためのデータであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0046

プログラミング

タグ：配列添字

用語：配列添字の確認ポイント1：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

次の説明に最も合う用語はどれか。配列内の要素位置を指定する番号又はキー

- A. 例外処理
- B. 継承
- C. 繰返し
- D. 配列添字

答え・解説

Q0046 正答：D. 配列添字

解説：配列添字は、配列内の要素位置を指定する番号又はキー。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0047

プログラミング

タグ：配列添字

用語：配列添字の確認ポイント2：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

配列添字の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- B. 通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み
- C. 既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み
- D. 条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造

答え・解説

Q0047 正答：A. 配列内の要素位置を指定する番号又はキー

解説：配列添字の要点は「配列内の要素位置を指定する番号又はキー」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0048

プログラミング

タグ：配列添字

用語：配列添字の確認ポイント3：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「配列添字」である。

- A. 例外処理：配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- B. 配列添字：配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- C. 継承：配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- D. 繰返し：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

答え・解説

Q0048 正答：B. 配列添字：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

解説：正しい組合せは「配列添字：配列内の要素位置を指定する番号又はキー」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0049

プログラミング

タグ：配列添字

用語：配列添字の確認ポイント4：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

「配列添字」は、配列内の要素位置を指定する番号又はキー。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0049 正答：○

解説：正しい。配列添字は配列内の要素位置を指定する番号又はキー。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0050

プログラミング

タグ：配列添字

用語：配列添字の確認ポイント5：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

組織が「配列内の要素位置を指定する番号又はキー」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 例外処理
- B. 継承
- C. 繰返し
- D. 配列添字

答え・解説

Q0050 正答：D. 配列添字

解説：この目的に対応するのは配列添字である。配列内の要素位置を指定する番号又はキーという機能・考え方を持つためである。

Q0051

プログラミング

タグ：配列添字

用語：配列添字の確認ポイント6：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

「配列添字」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- B. 条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造
- C. 既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み
- D. 通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

答え・解説

Q0051 正答：A. 配列内の要素位置を指定する番号又はキー

解説：配列添字は配列内の要素位置を指定する番号又はキー。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0052

プログラミング

タグ：配列添字

用語：配列添字の確認ポイント7：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

「配列添字」は、通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0052 正答：×

解説：誤り。記述は例外処理の説明である。配列添字は配列内の要素位置を指定する番号又はキー。

Q0053

プログラミング

タグ：配列添字

用語：配列添字の確認ポイント8：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

次の状況で中心となる論点はどれか。「配列内の要素位置を指定する番号又はキー」ことが求められている。

- A. 継承
- B. 繰返し
- C. 配列添字
- D. 例外処理

答え・解説

Q0053 正答：C. 配列添字

解説：中心となる論点は配列添字である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0054

プログラミング

タグ：配列添字

用語：配列添字の確認ポイント9：配列内の要素位置を指定する番号又はキー

「配列内の要素位置を指定する番号又はキー」という特徴を持つものを選べ。

- A. 繰返し
- B. 継承
- C. 例外処理
- D. 配列添字

答え・解説

Q0054 正答：D. 配列添字

解説：配列添字が該当する。定義は配列内の要素位置を指定する番号又はキーであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0055

プログラミング

タグ：例外処理

用語：例外処理の確認ポイント1：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

次の説明に最も合う用語はどれか。通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

- A. 例外処理
- B. クラス
- C. カプセル化
- D. 関数

答え・解説

Q0055 正答：A. 例外処理

解説：例外処理は、通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0056

プログラミング

タグ：例外処理

用語：例外処理の確認ポイント2：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

例外処理の説明として最も適切なものはどれか。

- A. データと操作をまとめたオブジェクトの設計図
- B. 通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み
- C. データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方
- D. 入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位

答え・解説

Q0056 正答：B. 通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

解説：例外処理の要点は「通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0057

プログラミング

タグ：例外処理

用語：例外処理の確認ポイント3：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「例外処理」である。

- A. クラス：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み
- B. カプセル化：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み
- C. 例外処理：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み
- D. 関数：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

答え・解説

Q0057 正答：C. 例外処理：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

解説：正しい組合せは「例外処理：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0058

プログラミング

タグ：例外処理

用語：例外処理の確認ポイント4：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

「例外処理」は、通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0058 正答：○

解説：正しい。例外処理は通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0059

プログラミング

タグ：例外処理

用語：例外処理の確認ポイント5：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

組織が「通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 例外処理
- B. クラス
- C. カプセル化
- D. 関数

答え・解説

Q0059 正答：A. 例外処理

解説：この目的に対応するのは例外処理である。通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組みという機能・考え方を持つためである。

Q0060

プログラミング

タグ：例外処理

用語：例外処理の確認ポイント6：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

「例外処理」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 入力を受け取り一定の処理を行い結果を返す再利用可能な単位
- B. 通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み
- C. データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方
- D. データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

答え・解説

Q0060 正答：B. 通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

解説：例外処理は通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0061

プログラミング

タグ：例外処理

用語：例外処理の確認ポイント7：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

「例外処理」は、データと操作をまとめたオブジェクトの設計図。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0061 正答：×

解説：誤り。記述はクラスの説明である。例外処理は通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み。

Q0062

プログラミング

タグ：例外処理

用語：例外処理の確認ポイント8：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

次の状況で中心となる論点はどれか。「通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み」ことが求められている。

- A. カプセル化
- B. 関数
- C. クラス
- D. 例外処理

答え・解説

Q0062 正答：D. 例外処理

解説：中心となる論点は例外処理である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0063

プログラミング

タグ：例外処理

用語：例外処理の確認ポイント9：通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

「通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み」という特徴を持つものを選び。

- A. 例外処理
- B. 関数
- C. カプセル化
- D. クラス

答え・解説

Q0063 正答：A. 例外処理

解説：例外処理が該当する。定義は通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組みであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0064

プログラミング

タグ：クラス

用語：クラスの確認ポイント1：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

次の説明に最も合う用語はどれか。データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

- A. 継承
- B. クラス
- C. 変数
- D. 引数

答え・解説

Q0064 正答：B. クラス

解説：クラスは、データと操作をまとめたオブジェクトの設計図。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0065

プログラミング

タグ：クラス

用語：クラスの確認ポイント2：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

クラスの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み
- B. 値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱
- C. データと操作をまとめたオブジェクトの設計図
- D. 関数へ処理対象の値を渡すためのデータ

答え・解説

Q0065 正答：C. データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

解説：クラスの要点は「データと操作をまとめたオブジェクトの設計図」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0066

プログラミング

タグ：クラス

用語：クラスの確認ポイント3：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「クラス」である。

- A. 継承：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図
- B. 変数：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図
- C. 引数：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図
- D. クラス：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

答え・解説

Q0066 正答：D. クラス：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

解説：正しい組合せは「クラス：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0067

プログラミング

タグ：クラス

用語：クラスの確認ポイント4：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

「クラス」は、データと操作をまとめたオブジェクトの設計図。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0067 正答：○

解説：正しい。クラスはデータと操作をまとめたオブジェクトの設計図。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0068

プログラミング

タグ：クラス

用語：クラスの確認ポイント5：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

組織が「データと操作をまとめたオブジェクトの設計図」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 継承
- B. クラス
- C. 変数
- D. 引数

答え・解説

Q0068 正答：B. クラス

解説：この目的に対応するのはクラスである。データと操作をまとめたオブジェクトの設計図という機能・考え方を持つためである。

Q0069

プログラミング

タグ：クラス

用語：クラスの確認ポイント6：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

「クラス」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 関数へ処理対象の値を渡すためのデータ
- B. 値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱
- C. データと操作をまとめたオブジェクトの設計図
- D. 既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

答え・解説

Q0069 正答：C. データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

解説：クラスはデータと操作をまとめたオブジェクトの設計図。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0070

プログラミング

タグ：クラス

用語：クラスの確認ポイント7：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

「クラス」は、既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：誤り。記述は継承の説明である。クラスはデータと操作をまとめたオブジェクトの設計図。

Q0071

プログラミング

タグ：クラス

用語：クラスの確認ポイント8：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

次の状況で中心となる論点はどれか。「データと操作をまとめたオブジェクトの設計図」ことが求められている。

- A. クラス
- B. 変数
- C. 引数
- D. 継承

答え・解説

Q0071 正答：A. クラス

解説：中心となる論点はクラスである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0072

プログラミング

タグ：クラス

用語：クラスの確認ポイント9：データと操作をまとめたオブジェクトの設計図

「データと操作をまとめたオブジェクトの設計図」という特徴を持つものを選びなさい。

- A. 引数
- B. クラス
- C. 変数
- D. 継承

答え・解説

Q0072 正答：B. クラス

解説：クラスが該当する。定義はデータと操作をまとめたオブジェクトの設計図であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0073

プログラミング

タグ：継承

用語：継承の確認ポイント1：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

次の説明に最も合う用語はどれか。既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

- A. カプセル化
- B. 条件分岐
- C. 継承
- D. 配列添字

答え・解説

Q0073 正答：C. 継承

解説：継承は、既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0074

プログラミング

タグ：継承

用語：継承の確認ポイント2：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

継承の説明として最も適切なものはどれか。

- A. データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方
- B. 条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- C. 配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- D. 既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

答え・解説

Q0074 正答：D. 既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

解説：継承の要点は「既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0075

プログラミング

タグ：継承

用語：継承の確認ポイント3：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「継承」である。

- A. 継承：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み
- B. カプセル化：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み
- C. 条件分岐：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み
- D. 配列添字：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

答え・解説

Q0075 正答：A. 継承：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

解説：正しい組合せは「継承：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0076

プログラミング

タグ：継承

用語：継承の確認ポイント4：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

「継承」は、既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0076 正答：○

解説：正しい。継承は既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0077

プログラミング

タグ：継承

用語：継承の確認ポイント5：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

組織が「既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み」のために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. カプセル化
- B. 条件分岐
- C. 継承
- D. 配列添字

答え・解説

Q0077 正答：C. 継承

解説：この目的に対応するのは継承である。既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組みという機能・考え方を持つためである。

Q0078

プログラミング

タグ：継承

用語：継承の確認ポイント6：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

「継承」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 配列内の要素位置を指定する番号又はキー
- B. 条件の真偽に応じて実行する処理を選ぶ制御構造
- C. データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方
- D. 既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

答え・解説

Q0078 正答：D. 既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

解説：継承は既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0079

プログラミング

タグ：継承

用語：継承の確認ポイント7：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

「継承」は、データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0079 正答：×

解説：誤り。記述はカプセル化の説明である。継承は既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み。

Q0080

プログラミング

タグ：継承

用語：継承の確認ポイント8：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

次の状況で中心となる論点はどれか。「既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み」ことが求められている。

A. 条件分岐

B. 継承

C. 配列添字

D. カプセル化

答え・解説

Q0080 正答：B. 継承

解説：中心となる論点は継承である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0081

プログラミング

タグ：継承

用語：継承の確認ポイント9：既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み

「既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組み」という特徴を持つものを選べ。

- A. 配列添字
- B. 条件分岐
- C. 継承
- D. カプセル化

答え・解説

Q0081 正答：C. 継承

解説：継承が該当する。定義は既存クラスの属性や操作を引き継いで新しいクラスを定義する仕組みであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0082

プログラミング

タグ：カプセル化

用語：カプセル化の確認ポイント1：データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方

次の説明に最も合う用語はどれか。データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方

- A. 変数
- B. 繰返し
- C. 例外処理
- D. カプセル化

答え・解説

Q0082 正答：D. カプセル化

解説：カプセル化は、データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0083

プログラミング

タグ：カプセル化

用語：カプセル化の確認ポイント2：データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方

カプセル化の説明として最も適切なものはどれか。

- A. データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方
- B. 値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱
- C. 条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造
- D. 通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み

答え・解説

Q0083 正答：A. データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方

解説：カプセル化の要点は「データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0084

プログラミング

タグ：カプセル化

用語：カプセル化の確認ポイント3：データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「カプセル化」である。

- A. 変数：データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方
- B. カプセル化：データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方
- C. 繰返し：データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方
- D. 例外処理：データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方

答え・解説

Q0084 正答：B. カプセル化：データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方

解説：正しい組合せは「カプセル化：データと操作をまとめて内部実装を外部から隠す考え方」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0085

プログラミング

タグ：カプセル化

用語：カプセル化の確認ポイント4：データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方

「カプセル化」は、データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0085 正答：○

解説：正しい。カプセル化はデータと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0086

プログラミング

タグ：カプセル化

用語：カプセル化の確認ポイント5：データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方

組織が「データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 変数
- B. 繰返し
- C. 例外処理
- D. カプセル化

答え・解説

Q0086 正答：D. カプセル化

解説：この目的に対応するのはカプセル化である。データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方という機能・考え方を持つためである。

Q0087

プログラミング

タグ：カプセル化

用語：カプセル化の確認ポイント6：データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方

「カプセル化」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方
- B. 通常処理では扱えないエラーを検出し適切に処理する仕組み
- C. 条件や回数に従って同じ処理を反復する制御構造
- D. 値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱

答え・解説

Q0087 正答：A. データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方

解説：カプセル化はデータと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0088

プログラミング

タグ：カプセル化

用語：カプセル化の確認ポイント7：データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方

「カプセル化」は、値を格納し名前で参照する記憶領域又は抽象的な箱。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0088 正答：×

解説：誤り。記述は変数の説明である。カプセル化はデータと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方。

Q0089

プログラミング

タグ：カプセル化

用語：カプセル化の確認ポイント8：データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方

次の状況で中心となる論点はどれか。「データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方」ことが求められている。

- A. 繰返し
- B. 例外処理
- C. カプセル化
- D. 変数

答え・解説

Q0089 正答：C. カプセル化

解説：中心となる論点はカプセル化である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0090

プログラミング

タグ：カプセル化

用語：カプセル化の確認ポイント9：データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方

「データと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方」という特徴を持つものを選び。

- A. 例外処理
- B. 繰返し
- C. 変数
- D. カプセル化

答え・解説

Q0090 正答：D. カプセル化

解説：カプセル化が該当する。定義はデータと操作をまとめ内部実装を外部から隠す考え方であり、他の候補とは機能が異なる。